

特別展

女優から妻へ

— 生誕100年 —

高峰秀子という生き方

The life of Hideko Takamine

2024 10.5(土)～
2025 1.13(月・祝)

特別展観覧料: 一般 400円(280円)
小・中学生 200円(140円)

* ()内は20名以上の団体料金

鎌倉市川喜多映画記念館

特別展 「〈女優〉から〈妻〉へ—生誕100年 高峰秀子という生き方—」

女優の仕事は好きになれなかった——

高峰秀子は終生そう言い続けました。

5歳で偶然子役に抜擢されると、サイレントからトーキーへの変革期に数多くの映画に出演、戦時期には少女スターとして大衆に愛されました。プロフェッショナルに徹した仕事ぶりで俳優としての信頼を高める一方、華やかなキャリアの裏では、養母との確執や十数人の親族の生活を担うなど、苛酷な運命を背負わされてきました。

そんな高峰にやがて転機が訪れます。『カルメン故郷に帰る』（木下恵介、1951年）を機にフリーになると、あらゆるしがらみから逃れたパリでの生活で“自分”を取り戻し、

1955年に木下の助監督だった松山善三と結婚。スター女優と助監督といういわゆる“格差婚”でしたが、松山の妻となることで高峰はようやく、自らの人生を歩き始めることができたのです。引退作と考えていた『浮雲』（成瀬巳喜男、1955年）後は、木下・成瀬を中心に出演作を絞り、シナリオ・監督業に進出した松山を公私に支えながら、妻として女優として充実した日々を送りました。

本展では生誕100年を迎えるこの機会に、日本映画史に燦然と輝く足跡とともに、高峰が手に入れた妻としての幸福を展示・上映・イベントによって振り返ります。波乱に満ちた半生と一転した穏やかな結婚生活を通して、高峰秀子という生き方を味わってみてください。



子役時代



『二十四の瞳』(木下恵介、1954年)ポスター



結婚式の朝、東京・麻布の高峰邸にて、夫となる松山善三と

特別上映

料金：一般 1,600円 / 小・中学生 800円 (展示観覧料含む)

10.20(日)
13:30~

『カルメン純情す』上映+トークイベント
「女優・高峰秀子の半生」
ゲスト：斎藤明美さん(文筆家)
チケット発売日：9月21日(土)

11.17(日)
13:30~

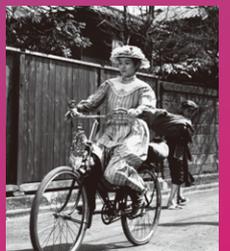
『あらくれ』上映+トークイベント
「今ひとたびの〈あらくれ・お島・高峰秀子〉」
ゲスト：山内マリコさん(小説家)
チケット発売日：10月12日(土)

12.7(土)
13:30~

『山河あり』上映+トークイベント
「妻・高峰秀子と松山善三」
ゲスト：斎藤明美さん(文筆家)
チケット発売日：11月9日(土)

高峰秀子の〈女優〉としての半生と、〈妻〉になってからの夫・松山善三との生活を、松山家の養女・斎藤明美さんに、2回に分けてお話しいただきます。

〈自然主義文学の大家〉と名高い徳田秋聲しゅうせいが1915(大正4)年に発表した小説「あらくれ」は、激しく奔放なヒロインお島の一代記を描き、当時の新しい女性像を提示しました。その後秋聲に傾倒した成瀬によって映画化され、高峰秀子がそれまでにない演技でお島を作り上げました。イベントでは映画に造詣が深く、フェミニズムの分野でも活躍される山内マリコさんに、今日的な視点から『あらくれ』の魅力をお話しいただきます。



特別展観覧料

一般400(280)円 / 小・中学生 200(140)円

*()内は20名以上の団体料金

※鎌倉市民は展示観覧料が無料です。入館時に住所が確認できる証明書をご提示ください。

映画鑑賞

一般 1,000円 / 小・中学生 500円 (展示観覧料含む)

特別上映

一般 1,600円 / 小・中学生 800円 (展示観覧料含む)

* 12.1(日)「映画の日」展示観覧料無料(映画鑑賞は別途)

チケット発売開始日

①~④：9月21日(土) ⑪~⑬：11月9日(土)
⑤~⑩：10月12日(土) ⑭~⑮：12月14日(土)

チケット販売場所：鎌倉市川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500 ※友の会会員の方は、指定の期間に電話予約が可能です。

1 カルメン純情す

10.14(月・祝) 10:30
10.16(水)・18(金) 14:00
10.20(日) 13:30 特別上映



浅草のストリッパー、カルメンが前衛芸術家に恋をしたことから巻き起こる騒動を、斬新な画面設計と個性豊かな俳優たちのアンサンブルで描く風刺喜劇。前作『カルメン故郷に帰る』に続き、不器用で愛らしいカルメンの魅力が炸裂する。

1952年/松竹/白黒/103分/35mm
監督・脚本:木下恵介
共演:小林トシ子、若原雅夫、淡島千景、三好栄子、東山千栄子

2 二十四の瞳

10.20(日) 10:00
10.14(月・祝)・17(木)・19(土) 14:00



小島島に赴任した新米教師と教え子たちの交流を通して、戦争という激動の時代を庶民の目線から描いた国民的名作。島の自然と唱歌主体の音楽が作品の抒情性を高めている。高峰と助監督だった松山は本作で交際をスタートさせた。

1954年/松竹/白黒/156分/DCP
原作:壺井栄 監督・脚本:木下恵介
共演:月丘夢路、小林トシ子、田村高廣、笠智衆、夏川静江

3 喜びも悲しみも幾歳月

10.29(火) 10:30
10.30(水)・11.1(金)・3(日・祝) 14:00



灯台守の夫婦が各地の灯台に赴任しながら、戦前から戦後の苦難を乗り越えていく年代記。北海道から五島列島まで日本の美しい風景がおさめられ、木下忠司作曲、若山彰が歌う同名の主題歌とともに映画も大ヒットを果たした。

1957年/松竹/カラー/160分/35mm
原作・監督・脚本:木下恵介
共演:佐田啓二、田村高廣、有沢正子、中村賀津雄、桂木洋子、三井弘次

4 永遠の人

11.3(日・祝) 10:30
10.29(火)・31(木)・11.2(土) 14:00



力づくで関係を持ち夫婦になった地主の息子と小作人の娘。夫を憎みかつての恋人を慕い続ける妻と、その夫の愛憎半ばする30年にわたる年月が、阿蘇の雄大な自然とフラメンコの音色をバックに展開する異色な人間ドラマ。

1961年/松竹/白黒/107分/35mm
監督・脚本:木下恵介
共演:佐田啓二、仲代達矢、乙羽信子、石浜朗、加藤嘉

5 浮雲

11.12(火)・15(金) 10:30
11.13(水)・16(土) 14:00



戦時下の仏印で愛し合った男女が、引き揚げ後も煮え切らない関係を続け、やがて屋久島へと行き着く。高峰にとって唯一の本格的な恋愛映画で、結婚のため本作での引退を決めていた高峰が「やる気でやった」、日本映画史上の傑作。

1955年/東宝/白黒/124分/DCP
原作:林芙美子 監督:成瀬巳喜男 脚本:水木洋子 共演:森雅之、岡田茉莉子、山形勲、中北千枝子、加東大介、千石規子

成瀬巳喜男 監督作品

6 放浪記

11.14(木)・17(日) 10:30
11.12(火)・15(金) 14:00



貧困時代を経て文壇で成功を収めるまでを描いた林芙美子の自伝的小説を、菊田一夫の舞台版から脚色。公開時「林に似ていない」との批判に対し長い反論文を発表するなど、成瀬作品の中でも高峰が特に愛着を持っていた一作。

1962年/宝塚映画/白黒/124分/35mm
原作:林芙美子、菊田一夫 監督:成瀬巳喜男 脚本:井手俊郎、田中澄江 共演:宝田明、加東大介、草笛光子、仲谷昇、伊藤雄之助、田中絹代

7 あらくれ

11.13(水)・16(土) 10:30
11.14(木) 14:00
11.17(日) 13:30 特別上映



「自分の力で運命を切り開いていく逞しい女性を描きたい」と成瀬が語った通り、気性が荒く情にもろい大正の女・お島が、男性遍歴を重ねながら逆境に負けず時代を渡り歩いてゆく様を描く。現代もなお強烈な印象を残す進歩的な一作。

1957年/東宝/白黒/121分/35mm
原作:徳田秋聲 監督:成瀬巳喜男 脚本:水木洋子 共演:上原謙、森雅之、加東大介、三浦光子、仲代達矢

8 女が階段を上る時

11.26(火)・29(金) 10:30
11.27(水)・30(土) 14:00



生活のため銀座のバーで雇われマダムとして働く未亡人が、男女の欲望と打算に翻弄され、傷つきながらも夜の世界を生き抜く姿を一人称のナレーションと共に描く。衣裳も担当した高峰は、女の悲哀と強さを美しい和服姿で魅せた。

1960年/東宝/白黒/111分/35mm
監督:成瀬巳喜男 脚本:菊島隆三 共演:森雅之、団令子、仲代達矢、加東大介、淡路恵子、中村雁治郎

9 女の歴史

11.28(木)・12.1(日) 10:30
11.26(火)・29(金) 14:00



フランス映画『女の一生』に着想を得た、嫁姑三代にわたる女性たちの苦難の物語。夫に先立たれ、女手ひとつで育てた息子を生き甲斐にしてきた女の一代記を回想形式で描く。成瀬・高峰コンビによる上映機会の少ない隠れた名作。

1963年/東宝/白黒/126分/35mm
監督:成瀬巳喜男 脚本:笠原良三 共演:宝田明、賀原夏子、山崎努、星由里子、仲代達矢

10 乱れる

11.27(水)・30(土) 10:30
11.28(木)・12.1(日) 14:00



姑とともに20年間酒屋を切り盛りしてきた戦争未亡人が、実家に戻ってきた義弟から愛を告白される。夫・松山が脚本を手がけ、女としての感情と世間体の間で揺れ動くヒロインを高峰が見事に演じた、成瀬晩年の代表作にして極上のメロドラマ。

1964年/東宝/白黒/98分/35mm
監督:成瀬巳喜男 脚本:松山善三 共演:加山雄三、三益愛子、草笛光子、白川由美、浜美枝

松山善三 監督作品

11 山河あり

12.3(火)・6(金) 10:30
12.4(水) 14:00
12.7(土) 13:30 特別上映



大正時代にハワイへ移民した二組の夫婦が、過酷な労働の末に豊かな生活を築くも、第二次世界大戦によって家族は散り散りになっていく。ハワイを愛した高峰・松山が、歴史に翻弄された日系移民の物語を紡いだ。高峰は衣裳も担当。

1962年/松竹/白黒/127分/35mm
監督・脚本:松山善三 脚本:久板栄二郎 共演:田村高廣、小林桂樹、久我美子、ミッキー・カーチス、早川保、桑野ゆき

12 名もなく貧しく美しく

12.5(木)・8(日) 10:30
12.3(火)・6(金) 14:00



松山が日比谷で見かけたろう者の靴磨きの夫婦に着想を得た監督デビュー作。戦後の混乱期に、数々の困難を乗り越えて健気に生きる夫婦を描き高く評価された。高峰と小林は、手話が美しく映るように工夫して洗練させたという。

1961年/東京映画/白黒/128分/35mm
監督・脚本:松山善三 共演:小林桂樹、原泉、草笛光子、荒木道子、根岸明美

13 六條ゆきやま紬

12.4(水)・7(土) 10:30
12.5(木)・8(日) 14:00



雪国の旧家を舞台に、夫の遺志を継いで伝統工芸の「ゆきやま紬」を守ろうとする芸者上りの未亡人に、封建的な因習が立ちはだかる…。共同体の閉鎖性が浮かび上がる美しい白黒撮影、高峰の円熟した演技が堪能できる松山の野心作。

1965年/東京映画/白黒/106分/35mm
監督・脚本:松山善三 共演:フランキー堺、小林桂樹、神山繁、大空真弓、毛利菊枝、杉村春子

鎌倉文士原作作品

14 宗方姉妹

2025.1.7(火) 10:30
1.8(水)・10(金)・12(日) 14:00



鎌倉文士・大佛次郎の新聞小説を原作に、小津が初めて松竹以外で撮った作品。夫の横暴に耐える貞淑な姉と現代的で聡明な妹という対照的な姉妹を田中と高峰が演じ、子役時代の高峰を知る小津、田中と久々の再会を果たした。

1950年/新東宝/白黒/112分/35mm
原作:大佛次郎 監督・脚本:小津安二郎 脚本:野田高梧 共演:田中絹代、上原謙、高杉早苗、笠智衆、山村聰

15 朝の波紋

2025.1.12(日) 10:30
1.7(火)・9(木)・11(土) 14:00



鎌倉文士・高見順の新聞小説を映画化。戦後復興期の東京を舞台に、貿易会社の社長秘書と大手商社マンが反発しつつ惹かれ合っていく姿を描く。半年間のパリ滞在からの復帰作で、高峰は自立した新時代の女性を演じた。

1952年/スタジオ8プロ/白黒/104分/Blu-ray 原作:高見順 監督:五所平之助 脚本:館岡謙之助 共演:池部良、岡田英次、三宅邦子、香川京子、上原謙

*作品により映像・音声必ずしも良好でないものがあります。場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

上映スケジュール

10月	関連上映 〈女優〉から〈妻〉へ 一生誕100年 高峰秀子という生き方 チケット発売日:9月21日(土)	14月・祝	10:30 カルメン純情す(103分)	14:00 二十四の瞳(156分)
		15火		休館日
		16水		14:00 カルメン純情す(103分)
		17木		14:00 二十四の瞳(156分)
		18金		14:00 カルメン純情す(103分)
		19土		14:00 二十四の瞳(156分)
		20日	10:00 二十四の瞳(156分)	13:30 特別上映 カルメン純情す(103分)+ トークイベント
		29火	10:30 喜びも悲しみも幾歳月(160分)	14:00 永遠の人(107分)+ 上映解説
		30水		14:00 喜びも悲しみも幾歳月(160分)
		31木		14:00 永遠の人(107分)
11月	関連上映 〈女優〉から〈妻〉へ 一生誕100年 高峰秀子という生き方 チケット発売日:10月12日(土)	1金		14:00 喜びも悲しみも幾歳月(160分)
		2土		14:00 永遠の人(107分)
		3日・祝	10:30 永遠の人(107分)	14:00 喜びも悲しみも幾歳月(160分)
		12火	10:30 浮雲(124分)	14:00 放浪記(124分)
		13水	10:30 あらくれ(121分)	14:00 浮雲(124分)
		14木	10:30 放浪記(124分)	14:00 あらくれ(121分)
		15金	10:30 浮雲(124分)	14:00 放浪記(124分)
		16土	10:30 あらくれ(121分)	14:00 浮雲(124分)
		17日	10:30 放浪記(124分)	13:30 特別上映 あらくれ(121分)+ トークイベント
		19火	10:30 ジェーンとシャルロット(92分)	14:00 枯れ葉(81分)
20水	10:30 aftersun／アフターサン(101分)	14:00 ジェーンとシャルロット(92分)		
21木	10:30 枯れ葉(81分)	14:00 aftersun／アフターサン(101分)		
22金	10:30 aftersun／アフターサン(101分)	14:00 枯れ葉(81分)		
23土・祝	10:30 枯れ葉(81分)	14:00 ジェーンとシャルロット(92分)		
24日	10:30 ジェーンとシャルロット(92分)	14:00 aftersun／アフターサン(101分)		
12月	関連上映 〈女優〉から〈妻〉へ 一生誕100年 高峰秀子という生き方 チケット発売日:10月12日(土)	26火	10:30 女が階段を上る時(111分)	14:00 女の歴史(126分)
		27水	10:30 乱れる(98分)	14:00 女が階段を上る時(111分)+ 上映解説
		28木	10:30 女の歴史(126分)	14:00 乱れる(98分)
		29金	10:30 女が階段を上る時(111分)	14:00 女の歴史(126分)
		30土	10:30 乱れる(98分)	14:00 女が階段を上る時(111分)
		1日	10:30 女の歴史(126分)	14:00 乱れる(98分)
		3火	10:30 山河あり(127分)	14:00 名もなく貧しく美しく(128分)
		4水	10:30 六條ゆきやま袖(106分)	14:00 山河あり(127分)
		5木	10:30 名もなく貧しく美しく(128分)	14:00 六條ゆきやま袖(106分)
		6金	10:30 山河あり(127分)	14:00 名もなく貧しく美しく(128分)
7土	10:30 六條ゆきやま袖(106分)	13:30 特別上映 山河あり(127分)+ トークイベント		
8日	10:30 名もなく貧しく美しく(128分)	14:00 六條ゆきやま袖(106分)		
12月	かまくら世界映画週間 《台湾篇》 一般:1200円、小・中学生:600円 チケット発売日:11月9日(土)	17火	10:30 恋恋風塵(110分)	14:00 台北ストーリー(119分)
		18水	10:30 青春18×2 君へと続く道(123分)	14:00 恋恋風塵(110分)
		19木	10:30 台北ストーリー(119分)	14:00 青春18×2 君へと続く道(123分)+ 上映解説
		20金	10:30 恋恋風塵(110分)	14:00 台北ストーリー(119分)
		21土	10:30 台北ストーリー(119分)	13:30 青春18×2 君へと続く道(123分)+ アフタートーク
		22日	10:30 青春18×2 君へと続く道(123分)	14:00 恋恋風塵(110分)
		7火	10:30 宗方姉妹(112分)	14:00 朝の波紋(104分)+ 上映解説
8水		14:00 宗方姉妹(112分)		
9木		14:00 朝の波紋(104分)		
10金		14:00 宗方姉妹(112分)		
11土		14:00 朝の波紋(104分)		
12日	10:30 朝の波紋(104分)	14:00 宗方姉妹(112分)		



旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

当館敷地内に建つ旧和辻邸をご覧いただけます。(各日10:00~16:00)
 一般公開(無料):10.12(土)、13(日)
 特別公開(要展示観覧料):11.22(金)~24(日)

★いずれの公開も天候等の事情により中止となる場合があります。

ギャラリートーク／上映解説(要展示観覧料/各40分)

展示の見どころ／上映作品について、学芸員が解説します。

ギャラリートーク 10.14(日・祝)・11.13(水)・12.6(金)・1.12(日) 各日13:00~
 ＊終了後、旧和辻邸見学ツアーあり(約10分)

上映解説 10.29(水)・11.27(水)・12.19(木)・1.7(水)
 各日午後の上映終了後



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

☎0467-23-2500

開館時間:9:00-17:00(入館は16:30まで)

休館:月曜日(10.14、11.4、1.13は開館)、10.15(火)、
 11.5(火)、12.29(日)~2025.1.3(金)

●駐車設備がありませんので公共交通機関をご利用ください。

主催:川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)
 ＊席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。
 詳しくはお問合せください。



<https://kamakura-kawakita.org>